

穂学

平成28年度

広州日本人学校学校便り

[No. 3]

平成28年6月21日(火)(P)

発行責任者 教頭 高橋秀之

◆◆◆不思議と思う心をいつまでも◆◆◆ 校長 丸本 互

わたしは不思議でたまらない
黒い雲から降る雨が
銀に光っていることが

わたしは不思議でたまらない
青い桑の葉を食べている
蚕が白くなることが

わたしは不思議でたまらない
たれもいじらぬ夕顔が
ひとりでぱらりと開くのが

わたしは不思議でたまらない
たれに聞いても笑っていて
あたりまえだということが

金子みすず「不思議」



これは金子みすずさんの「不思議」という詩です。みすずさんは普段身の回りであって誰も気にとめないこと、不思議に思わないことにも「不思議」だと目を向けています。

幼い頃たくさん不思議を感じませんでしたか。見るもの聞くもの「なぜ」「どうして」を連発して大人や親を困らせはしなかったでしょうか。ところがいつの間にか質問をしなくなってしまいます。不思議だと思っても尋ねなくなってしまいます。そして、いつの間にかあたりまえと思うことが増えてしまっていることに気がつきます。

子どもの世界も同じで、学年が進むにつれこの不思議の芽がしぼんでしまいます。今までの学習、経験から自分で解決したり答えを見つけていけばよいのですが、案外、「聞くのがめんどくさい」の一言で終わっているのではないのでしょうか。

子どもたちには、不思議を感じる柔らかい心を持ってほしいと思っています。

さて、最近子どもが巻き込まれたり、子どもが犯してしまう痛ましい事件が日本国内で相次いで起こっています。こればかりは「なんで、どうして、不思議」と驚いているだけではすみません。どんなことがあっても子どもたちを守っていかなければいけません。教職員、保護者の目の届かないところで子どもたちは様々な経験や学習をしています。「うちの子に限って」「え、そんなことを」と驚かされる事がしばしばあります。大人が子どもたちの行動を不思議がるのではなく、子どもたちが今何を考えているのかを積極的に理解しようと努力することが大切だと思います。子どもたちの心の中も大きく変化しています。心の変化を見逃さないよう、しっかりとした目で子どもたちを見ていきましょう。

20日からは水泳学習が始まります。また、22日からは小学部6年生が西安修学旅行に出かけます。多くの体験を通して、たくさん不思議を感じ、不思議をひもといて欲しいと願っています。

家庭でも子どもたちと、多くの不思議を体験してください。今後とも、学校へのご理解ご協力をお願い致します。

水泳授業開始

今週から水泳授業が始まりました。広州日本人学校では、これから9月中旬までの授業となります。

室内プールのため、天候に左右されずに実施できますが、9月まだ少し気温が高くても日差しが入らないため、水温が上がらず寒くなってくるためです。

約3ヶ月週2回の授業となります。楽しく泳力を鍛えてくれればと思います。



小1初めての水泳授業におおはしゃぎ



安全に勉強するためのお約束も勉強

4年生校外学習

6月17日(金)



近くで見るとでかい! 消防車



4年生が校外学習で萝崗区の消防局を見学しました。中国にいても日本と同じように見学や体験ができることは素晴らしいことです。当日は、煙体験ができるエアドームや、消防車への乗車体験、放水実演などを見せてくれるなど、大変厚遇して頂きました。4年生も大興奮です。消防職員は、軍属と同じような扱いとなり、宿舎へ寝泊まりして、若い職員は里帰りも自由ではないとお聞きしました。広州でも消防のサイレンを聞くことがあります。

これからは、彼らが活躍しているんだなと想いながらその音を聞くことができるでしょう。もちろん自分たちも火災を出さないこと、またいざという時には命を守るための行動もしっかり学ぶことができました



煙体験のエアドーム



消防服体験



宿舎は6人部屋 びしっと整頓

快く見学させていただいた消防局のみなさん有り難うございました。

5月18日~6月15日の転出入情報 転入4 転出0 在籍数393名